



災害復興に  
名をかりた

## 三宅島バイクレース断念に

都は、秋に予定していた三宅島公道レース計画を断念しました。発端は、石原知事が巨額の税金でマン島を視察した際バイクレースに感動して、噴火被害に苦しむ三宅島でレース計画をトップダウンで押しつけたものです。しかし、バイクメーカーやライダーから島一周の公道レースは、危険すぎると強い批判がおこっていました。

都議団は、いち早く公道レースが海岸線や断崖絶壁の危険な場所であること、島民からも歓迎されず復興に役にたたないこと、復興予算をレースに注ぎ込むものだとして、一貫して中止を求めてきました。

私は、決算委員会で島の復興、農漁業



の復興こそ緊急ともども、議会で徹底して追及、今回、計画を断念させました。

今、都がおこなうべきは、三宅航路の拡充・整備、農業の復興、観光資源の開拓です。引きつづき環境破壊と税金のムダづかい中止のためにがんばります。

### 三軒茶屋2丁目 豪雨のたびに家屋浸水

### 住民といっしょに交渉し 下水管改善工事・遊水池計画検討に

集中豪雨のたびに、住宅と道路が浸水する三軒茶屋2丁目、「安心して住めるように対策を」と住民から声が上がっていました。原因は、マンション建設で家庭排水がふえ、そのうえ豪雨のたびに雨水が、すぐそばを流れる蛇崩川(じゃくずれがわ)に埋めてある下水本管に集中するため、水が逆流して被害を拡大していることです。

さっそく9月30日、私の事務所で下水道



改善を要求する住民とたぞえ都議

局の課長など3人の担当者と、被害を受けている住民4人、および私と桜井みのる区議が交渉し、枝管の増設工事をはじめること、区立丸山公園下に水をためこむ遊水池計画を検討する事を約束させました。